

しんじゅく創業1丁目

新宿区立高田馬場創業支援センターニュースレター



SPECIAL

創業セミナー『知っておきたいスタートアップの「いろは」』を開催

当センター主催による創業セミナー『知っておきたいスタートアップの「いろは」』は、前回3月の創業セミナーでお話いただき、大好評だったNPO法人Startup Weekendの理事長である李氏に再度ご登壇いただきました。今回は「スタートアップ」についてより詳しく学ぶために初級編、中級編と2回に分けてセミナーを開催いたしました。



NPO 法人 Startup Weekend 理事長 李東烈氏



ワークショップの様様



キーワードを並べて意見交換

初級編 5月30日(土)開催

初級編では、まず初対面の参加者がチームとなって、自分たちの会社を投資家に向けて1分間ピッチ(目的を達成するための発表)を行うという前提で事業プランを練るというワークショップを行いました。

その後は「スタートアップについての誤解」「起業家についての誤解」「起業についての誤解」の3つをテーマに、それぞれ基礎知識や世界の事例紹介を通じて学びました。李氏によるとスタートアップとは会社の分類の一つで成長志向型の会社を指すということ、努力すれば必ず成功するものではないという点において、芸術のようなものであるというお話がありました。また、起業家とは「世界を変える人」であって生きるためにお金を稼ぐことが目的ではない、度重なる失敗の先に成功はあるというようなお話もありました。

中級編 6月13日(土)開催

中級編では、初級編を振り返り、ワークショップを交えながら起業に必要なスキルを学びました。ビジネスの成長段階に応じて、事業を見直すピボットという手法、製品やサービスのインタビュー調査をする時の「聞く」手法、顧客分析では指標数値の取り方が大事であることなどを学びました。事例として、ハンドメイド雑貨販売としてアメリカ No.1 になったサイトを挙げ、コミュニティを使って顧客を獲得して、認知度を上げ、シェア No.1 までに成長した手法を具体的にお話いただきました。

赤ちゃんが転びながら歩き方を学ぶように、起業家も転びながら前へ進んでいくこと、その際に世の中で発表されている起業スキルを知り、ロジカルに戦略を立てて進んでいくことが成功させるうえで大切だということ学びました。

NEWS

利用者主催セミナー「ビジネス論語塾」開催



「ビジネス論語塾」開催の岡村氏

4月18日(土)、当センター利用者の岡村威治氏が主催するセミナー『第54回ビジネス論語塾』が当センターの会議室兼商談室で開催されました。

「ビジネス論語」とは、2500年前の中国の孔子の話をまとめた「論語」を現代のビジネスパーソン向けに、実践的に活かせるように翻訳したものをいい、岡村氏が講師を招いて連続講座を開催されています。

この日も土曜の朝にも関わらず、大学生から社会人までが集まり、大人の

道徳講座さながら、人生の正道を歩むための教えや、ビジネスに役立つ行動指標とするための教えを質疑応答を交えながら熱心に学ばれていました。

目次

SPECIAL

創業セミナー『知っておきたいスタートアップの「いろは」』(初級編・中級編)を開催

NEWS

利用者主催セミナー「ビジネス論語塾」開催

VOICE

利用者紹介
狩野 祐東 さん

■起業のきっかけを教えてください。

4年前に独立したのが、実は2度目の起業で現在に至ります。1回目の独立は会社員時代に出版依頼があったのがきっかけでした。長い間フリーランスという立場で依頼された仕事を続けていると、自分から営業をするというスタイルでなかったこともあり、社会との接点が狭くなっていくように感じ、再度就職をしました。ところが、就職した会社が1年程で経営悪化になるということを経験したことで、会社には頼らない生き方をしようと決意したのが今回の起業になります。2回目ということもあり、前回とは意識が違い、自分から外へ向かってアピールするという意識を強くもっています。会社員時代に蓄積した経験も役に立っています。

■現在の事業について教えてください。

アメリカで学んだUI(ユーザーインタフェース)というITにおけるユーザー視点の利便性をベースにデザインや開発を行ってきました。この2年はホームページ作成に関する技術系の参考書の執筆活動を主にしており、昨年は1年間に4冊の書籍を出版することができました。現在もホームページ作成に必要なプログラミング言語の一つであるJavaScriptの入門書を今秋の出版に向けて準備をしている最中です。

■当センターをご利用しての感想は？

創業支援センターに来ると、自分とは全く異なる業種の人と知り合えることや、他の人の仕事の進め方などを知ることで、刺激になります。創業支援センターのフリーアドレスの席ではできない、デスクトップパソコンでやるデザイン系の仕事は自宅で行っていますが、使い分けをすることで、気分も変わります。また、以前仕事の発注元からの支払いが滞ったことがあり、福田稔IM(インキュベーションマネージャー)のアドバイスに従って行動し、直接交渉の末全額回収したことがあります。仕事を形にするのとは違うタスクですが、回収を含めて最後までやり遂げるのは事業を継続する上で必要なことなので、いい経験になりました。自分一人ではここまでできたかどうかわかりません。相談して良かったです。

■今後の抱負についてお聞かせください。

今までの仕事は、依頼を受けて形にするという流れでやってきました。これからは自分からの企画・発信を増やして、製品やサービスを生み出していきたいと考えています。まずは来月7月に技術者向けのセミナーを開催します。今までもセミナー講師の経験はありますが、自分で企画立案するのは初めてで、思った以上にいろいろな準備が必要で大変さを感じています。今の仕事が落ち着く秋頃には、法人化を予定しています。今年は仕事のやり方も変え、会社も設立する転換の年となります。まだまだやりたいこと、できることがあると感じており、新技術を活用した製品づくりなどができたら楽しくなると思っています。



Profile

Web / アプリケーション UI デザイナー、エンジニア。執筆家。
早稲田大学卒。アメリカ・サンフランシスコに留学、UI デザイン理論を学ぶ。帰国後会社勤務を経て現在フリーランス。Web サイトやアプリケーションのインターフェースデザイン、インタラクティブコンテンツの開発を数多く手がける。各種セミナーや研修講師としても活動中。
主な著書に「スラスラわかる CSS デザインのきほん」「作りながら学ぶ jQuery デザインの教科書」「スラスラわかる HTML&CSS のきほん」など多数。
<http://www.solidpanda.com/>



狩野氏の出版物の一部

新宿区立高田馬場創業支援センターのご案内

志を共有し、リスクを最小限に、利益を生む仕組みづくりを応援する伴走者として、起業・経営革新を全力でサポートします。

創業支援メニュー

- ・オフィススペースの提供
- ・各種相談(経営・戦略・資金・販促)
- ・コミュニティ連携の機会提供
- ・ビジネスコンビニ機能
- ・利用者交流会の開催

主な施設

- ・シェアードオフィス(10席)
 - ・個室オフィス(2室)
 - ・会議室兼商談室(18席)
 - ・交流スペース
 - ・相談室・資料スペース等
- ※同建物内にございます。新宿消費生活センター分館の会議室(36名)、調理室兼商品テスト室もご利用(有料)になります。

利用(入居)のご案内

ご利用にあたっては、必ず当センターの見学・利用相談を受けてください。そのうえで、必要書類をご提出いただき、事業計画の具体性、実現可能性等を審査し、承認された方に限りご利用いただけます。

■募集期間: 募集は定員になり次第終了します。募集状況については当センターホームページ等でご確認ください。

■定員: 32名

■利用期間: 6カ月間 ※3回まで更新可、最長2年間

■開館日: 年中無休 ※年末年始(12/29~1/3)を除く

■利用時間: 8:30~24:00

お問い合わせ

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目32番10号

Tel 03-3205-3031 / Fax 03-3205-1007

Email incu@shinjuku-center.jp / URL <http://incu.shinjuku-center.jp>

お知らせ

施設利用者の募集について

新宿区立高田馬場創業支援センターは、新宿区内での、創業もしくは創業間もない方や経営改革を目指す方を支援する施設です。施設利用は随時受け付けています。

申込みを行なう前に、当センターにお越しいただき、必ず施設見学・利用相談をしていただいています。

詳細は、当センターホームページ(<http://incu.shinjuku-center.jp>)をご覧ください。お気軽にご相談ください。

新宿区立高田馬場創業支援センター

ニュースレター-しんじゅく創業1丁目

発行人: 田中 健一朗 編集者: 小林 由布子

発行No: 第2015-023号 発行日: 2015年6月30日(隔月発行)

指定管理者: 有限会社そーほっと